



(公財) 石川県国際交流協会主催 テーマ別研修会



石川県の外国人住民との 共生を考える講座



技能実習から育成就労へと制度の見直しが行われ、国は地域に外国人就労者を積極的に受入れる方向に舵を切りました。今後、地域の身近な場所で働く外国人就労者と接する機会がさらに増えることが予想されます。

この講座では、外国人との共生に向け、「民主的シティズンシップ」をキーワードとして、外国人住民自身の語りにどのように耳を傾け、何を聞き取り、それを地域づくりや外国人住民支援、日本語教育にどう生かしていくのかを、講師と参加者で考えます。

第1回

「日本語学習者が語るライフストーリーからことばの学びを捉えなおす
— 一つの語りからせまるシティズンシップ —」

2024年7月21日（日） | 午前9:30-11:30

講師：市嶋典子氏（金沢大学） | 会場：リファレ4階大研修室（金沢駅5分）

第2回

「（仮）ドイツの外国人住民受入れ事例と民主的シティズンシップについて」

2024年9月8日（日） | 午前9:30-12:00

講師：三輪聖氏（チュービンゲン大学） | 会場：リファレ4階大研修室（金沢駅5分）

第3回

「どう支援する？ はたらく人の日本語学習」

2024年10月6日（日） | 午前9:30-12:00

講師：平山智之氏（一般財団法人日本国際協力センター） | オンライン開催

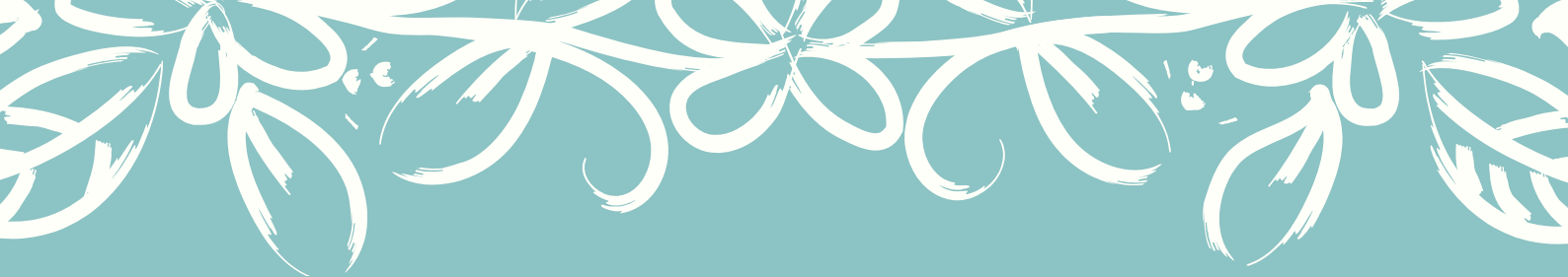
お申込み：<https://forms.gle/1gFUXVWf49EpDHnb8>

お問い合わせ：（公財）石川県国際交流協会 担当今井、石津
076-222-5931 koshi1@ifie.or.jp

全3回とも
オンライン参
加可能です

申込みフォームへ
QRコードからも
行けます





各回の詳細

■第1回 7月21日（日） （対面参加、オンライン参加可能）

この講座では、3人のシリア出身の日本語学習者に実施したライフストーリーインタビューから、3人の中で日本語を学ぶことに関する意識がどのように変わり、「シティズンシップ（市民性）」が彼らの中でどのように生成されていったのか、その過程を見ていきます。

また、社会の変化により「シティズンシップ」という概念がこれまでどのように変化してきたか、そして、ことばの教育にどのような影響を与えてきたかを考えます。

その上で、シリアに留まった日本語学習者と、難民や移民としてヨーロッパや日本で学ぶ日本語学習者の語りを比較しながら、ことばの学び（日本語を学ぶこと）が、個人の人生の選択や決断に深く関わり、「シティズンシップ」の生成にもつながることを示します。

■第2回 （対面参加、オンライン参加可能）

詳細確認中

■第3回 （オンラインのみの開催）

詳細確認中

